

---

# バンビーノ・バンビーナ

mamacros

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バンビーノ・バンビーナ

### 【Zコード】

N2986U

### 【作者名】

mamacross

### 【あらすじ】

starry sky 一樹×月子 “ライオンズブルーの翼”  
より転載

あいしてる 君に囁ひや おつ Ciao -.

愛しあや いけないなんて、誰が決めた？

愛しても良いだろ？

想つは、自由だろ？

### バンビーノ・バンビーナ

昼休み、いつの間にか眠りについていた俺を起こしたのは、愛する月子の優しい手。

その感触に気付いて、目を覚まして、腕を引っ張つて体を引き寄せれば、困ったような顔をして頬を真っ赤にしているお前が近くなつた。

「もう、一樹会長は……。」

ぼそり、不満を精一杯の勇気で必死に訴えるように呟かれる。

「良いだろ、一日に一度位。」

「もつと多いです！-！それに、」

「それに？」

「急にそんな」とされたら、心臓が持ちませんよ…………。」

「良いじゃないか。俺がお前を愛してる証拠だ。」

「つ、一樹会長つてば……。」

「嫌いじゃないだろ？」

「……はー」

「円子が素直に同意してくれるなんて、珍しいな。

「……だって、好きなんすもん。」

「ん?」

聞こえなかつたふりして、訊いてやる。  
だって、あまりにも嬉しかつたから。

幸せで、幸せで。

仕方ないから、もう一度、  
お前をギュッと抱き締めた。

「もう、一樹会長は……。」

「」——。何度言つたら直るんだ?」

「はい?」

「一樹さん、だろ?」

「〃〃!」

「言わないなら、離してやらないせ?」

「——一樹、さん、」

「何だ?」

「大好きです。」

一瞬、俺が目をみはつたこと、ここつは気付いているのだろ?か?

平静を装つて、返答。

「良くでもました。」

髪をわしゃわしゃと撫でて、おでこに不意打ち。

「や。

「ん、」馳走様。」

「わへ、一樹会長へへへへ！」

「せりせり、そうじやなくて？」

「つ……。そんなにからかうと、……一樹さん、つて呼ばなくなりますよ……」

「それは残念。」

じゃあ一樹で良いぜ？

そう耳元で囁くと、円子は真っ赤になつて、

「…………一樹さん、離して下せー。」

「ん〜〜、残念。ちよつとそれは無理な相談だな。」

「もう、一樹さんほつーーー！」

真っ赤になつて、そっぽを向いて。

でもそんな所まで、可愛いと思つてしまつんだ。

だから離さない。

永遠にな。

駄目か？

「駄目じゃないです。」

「…………！」

「絶対、離さないで下せこよ。」

真っ赤になつて、深呼吸して。

そんな、楽しいけど長い空白の時間の後に円子がくれたのは、

「……………一樹。」

幸せ。

正直さ、半分諦めてたんだぜ？

お前がこんなに真っ赤になつてまで、一樹さん、って呼んでくれるだけで充分だと思ってたんだ。

けど、お前はいつも、その固定観念を良い意味で破つてくれるんだよな。

精一杯、真っ赤になつて頑張つてわ。

俺はどれだけ月子が好きなんだろうか。

もう銀河とか宇宙とか、そんなちっぽけな観念じゃ計り知れない程に膨れあがつてゐる。

好きだ。

「好きだ。大好きだ。…愛してる。」

俺には、こんな陳腐でありふれた愛の言葉しか伝えられないけど。

「…………私も、です」

月子は真正面から受け止めて、返事をくれる。

ああ、幸せだ。

お前が、離さないで、って言つてくれるから、俺はここにいるんだ。

迷つむや いけないなんて、誰が決めた？

愛しても良いだろ？

想つは、自由だろ？

奇蹟が起きて、愛し合ひとじが出来たよくなつたな、  
愛し合ひとじだって、許されるだろ？

お前が許してくれたから、

ここにいるから。

離れないから。

許してくれて、  
赦してくれて、  
ありがとう。

そのお返しは、  
幸せで良いか？

(後書き)

イメージソシング

田村ゆかり バンビーノ・バンビーナ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2986u/>

---

バンビーノ・バンビーナ

2011年10月9日08時14分発行